

あらかわ

第129号

平成29年10月12日

荒川区青少年委員会連絡会

荒川区地域文化スポーツ部

生涯學習課

登録(29)0044号-1

青少年委員だからできること 青少年委員にしかできないこと

荒川区青少年委員連絡会ホームページ

<http://www.arakawa-seishonen.jp/>

Digitized by srujanika@gmail.com



平成 29 年度 宿泊研修会

連絡会の会長を拝命し1年半、個性豊かな39人に支えられながら走ってまいりました。まだ後ろを振り返る余裕はありませんが、少しだけ振り返ってみると、1期の皆さんのが少しずつ、自分の個性を出せるようになつたことを実感しています。

それは連絡会全體でもそうですが、各ブロックの先輩委員が、活動についていけるように助言や指導をしていく点が大きいと思います。

各ブロック行事をはじめ、川の手荒川まつり、チャレンジ共和国、さくら教室、成人の日のつどい等の大きな事業には、大勢の青少年委員が参加しています。この他にも、自主研修会、新任研修会、宿泊研修会、あらかわ遊園見守り隊等、表には出ない活動があり、皆が楽しみながら企画し参加しています。

また、定例会の度に行っているミニ研修は、日頃の活動の役に立つのはもちろん、委員同士のコミュニケーションの場にもなっています。年に一度の宿泊研修会は、バスでのレクリエーションからキャンプファイヤーまで充実した内容になっています。

多くの研修を通して自己研鑽にはげみ、スキルアップを目指している青少年委員の更なる今後の活躍にご期待ください。

少年委員だからできること

青少年委員にしかできないこと。
平成24年度から掲げてきたこのスローガンを、一
人ひとりがもう一度しっかりと心にきざみ、これが
らも青少年委員・行政・地域の三位一体となつて、
子どもたちを育んでいきたいと思つています。
今後とも、皆様のご支援・ご協力をどうぞよろし
くお願いいたします。



荒川区青少年委員連絡会

会長 池田 明子

地域文化スポーツ部
生涯学習課長

浦田 寛士



本年1月から生涯学習課長を拝命し、早くも半年が経ちました。4月の定例会での初顔合わせを皮切りに、さくら教室、川の手荒川まつり、チャレンジ共和国、宿泊研修会、みんなde遊ぼう！など、様々な事業を通して、池田会長をはじめとする青少年委員の皆さんと交流を深めてまいりました。

中でも、川の手荒川まつり後の歓迎会では、管理職一年生として間もない私を、あたたかく受け入れてください、張りつめていた心が癒されましたことを大変有難くかつ嬉しく思っています。

さて、本年は昭和28年2月に青少年委員制度が発足してから64年目を迎えております。青少年委員の皆さまには、この長きに渡つて子どもたちの健全育成のために、様々な体験活動や地域における交流促進事業などにご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

私も、青少年委員の皆さまとともに、子どもたちの主体性を育み、創造力を伸ばす取組を通じて、子どもはもちろん区民の誰もが幸福を感じできるあたたかい地域社会づくりのために邁進していく所存です。

これからも青少年委員連絡会と事務局が連携して、より良い事業を進めていきますよう、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

上期活動

4月 川の手荒川まつり

5月 さくら教室「開講式」

6月 東京都青少年委員会連合会定期総会 チャレンジ共和国（全4回）

7月 校庭利用部会ドロダンゴ講習会 日暮里プロック「日暮里わくわくランド」

8月 成人の日のつどい実行委員会（全10回） 正副プロック長座談会 チャレンジキャンプ

9月 宿泊研修会 みんなde遊ぼう！

下期活動

10月 城北プロック研修会 南千住プロック「ドロダンゴ教室」

11月 尾久プロック「尾久つ子ランキング」

12月 成人の日のつどい 荒町プロック「あらまちフェスタ」

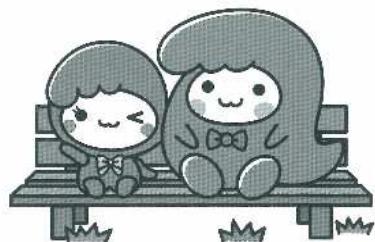
1月 東京都青少年委員大会

2月 自主研修会 退任式

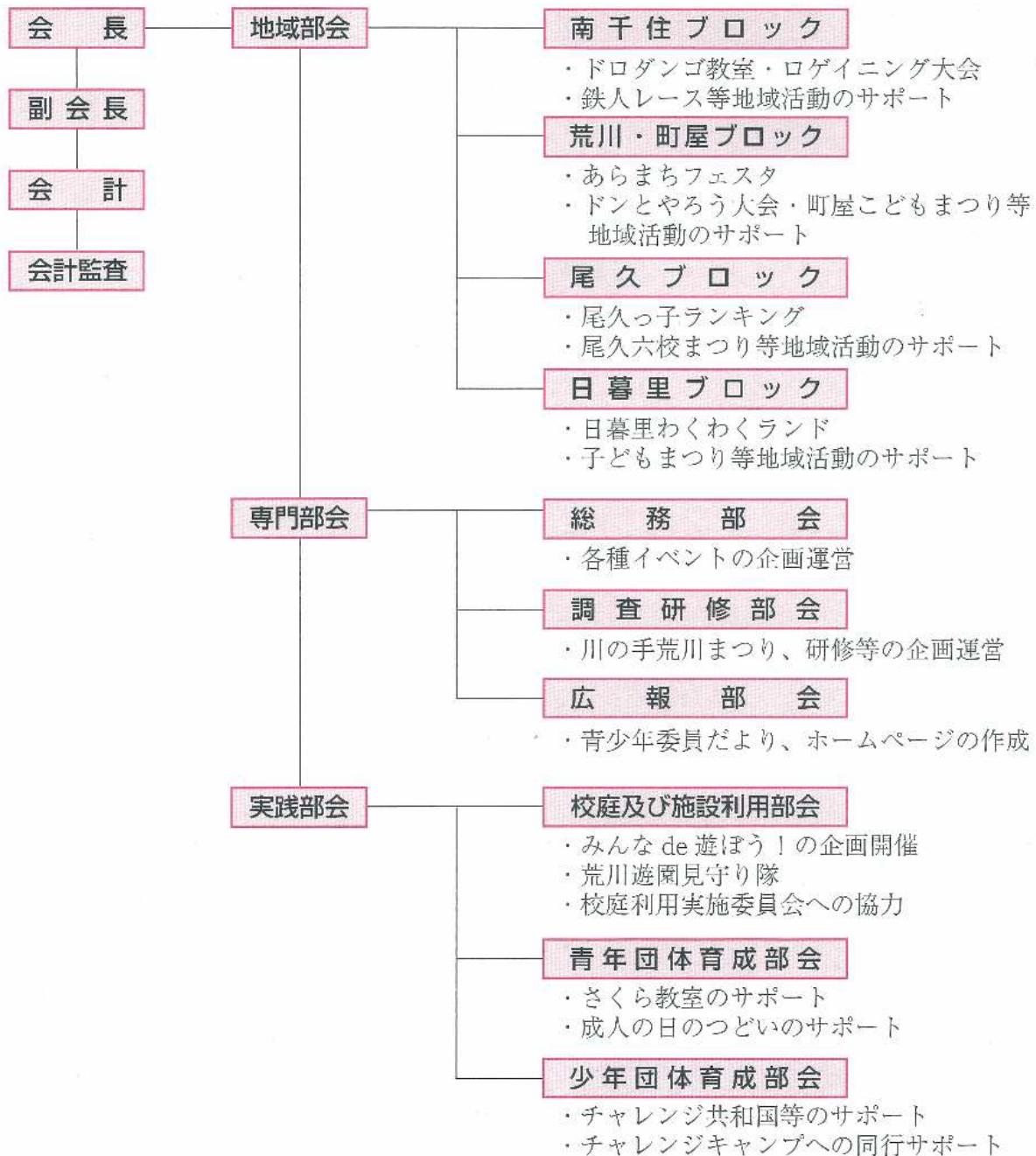


青少年委員とは何をしている人だと思いますか？

- ・青少年活動を援助する地域の活動家
- ・青少年を対象としたグループワーカー
- ・地域の青少年がより良い活動が出来るように促進を図る相談員
- ・青少年育成関係者の連携を図る連絡調整者
- ・地方公務員（非常勤）として活動



組織図



青少年委員は、1人で3つの部会に所属していますが、部会の枠を超えて協力しあっています。各種イベントでは、皆さんと顔を合わせる機会がたくさんあります。一緒に楽しみましょう！詳しくは、ホームページをご覧ください。

長 座 談 会

質 問

- ①あなたが思う青少年委員のあり方
- ②ブロックの特徴・活動方針・現状など
- ③これからやりたいこと(ブロックの将来等)

南千住ブロック

- ①各委員が仕事と家庭を持っている中で、時間に都合をつけて活動することが基本。
- ②ドロダンゴ教室とログイニング大会の2つの行事を、隔年で交互に開催。
- ③新しい人たちが新しい行事を考えて、立ち上げていくこともよいと思っている。



長澤南千住ブロック長



井村荒川・町屋ブロック長

協力することが大事！

メンバーが入れ替わっても大丈夫

新しい事ができればいいな～～

荒川・町屋ブロック

- ①仕事や生活、地域等環境の違う者同志が集まっているので、参加の仕方も色々。ブロック会やブロック行事を、一人ひとりが大切にしてほしい。
- ②『様々な人との関わり合いが子どもを育てる』をコンセプトに、常に子どもの目線でブロック行事の内容を企画している。
- ③室内ゲーム以外（ネイチャーゲーム等）の行事を企画してみたい。また、4ブロック合同のイベントを計画し、実行してみたい。

熱すぎる想い

受付から解散までの一連の流れは完璧！

荒町 No 1 !

みんな～～一緒に！

平成29年8月3日(木)「正副ブロック長座談会」を開きました。各ブロックの青少年委員が何を思い活動をしているのか、今後の活動のあり方など(右の3つの質問)について、話し合いました。

正 副 ブ ロ ッ ク

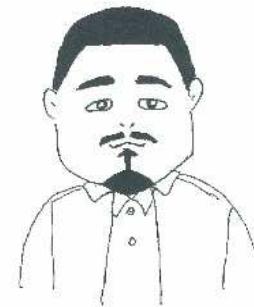
尾久ブロック

- ①地域に密着し、子どもたちとの接点を増やし、青少年健全育成を目指す活動を行う。
- ②地域・学校との関係性が良い。新しいものだけを取り入れるのではなく、伝統を維持し、改良しながら活動している。
- ③今の行事を維持し、小・中学校からの要請にも柔軟に対応しながら活動していく。
PTA行事の依頼にも積極的に参加し、一緒に盛り上げていく。

地域の潤滑油

地域の小・中学校
ともなかよし！

尾久地区
盛り上がってます！



川野尾久ブロック長



神山日暮里ブロック長

日暮里ブロック

- ①地域やPTAの活動にて、子どもたちが楽しく遊べるように協力する。一人ひとりが青少年委員として考え、協力し、楽しく活動してほしい。
- ②日暮里わくわくランドは、親子での参加を基本とし、毎年違う内容のものを考えて実施している。日暮里地区は、中学校が1校しかなく、ボランティアの人数の確保が毎年の課題。
- ③これまで通りブロック行事を行ない、できるだけ多くの子どもに参加してもらいたい。他ブロックにも協力をしてもらい、よりよい企画を実施していきたい。

自分たちも
楽しむ！

内容は毎年変更

一人ひとりがブロック
長のつもりで頑張って！

挿絵：南千住ブロック・きょちゃん

正副ブロック長座談会 ー感想ー

尾久ブロック

他ブロックの話しを聞いて、苦労されている事・知らなかった事を知りました。

他ブロックの良い点は、丸々取り入れるのではなく、自ブロックに合うように取り入れられればと思います。全てのブロックが同じ考えになる必要はなく、各ブロックの歴史の中で変わってきた経緯を思うと、一概に良い・悪いとは言えないと思いました。

今回の座談会は、私にとって青少年委員活動のあり方等を考える良い機会となりました。

南千住ブロック

青少年委員はできることをできるときには活動する…これが基本になっているのは皆さん同じ考え方でしたが、各ブロックで地域性があることを改めて感じました。新しいことを始める場合は、ブロックの中で話しあうことから始めたいと思います。他ブロックの発表は、とても参考になりました。

日暮里ブロック

座談会は初の試みですので、企画した側の広報部員でもある私としては、当日は「どうなることか」と思い臨みました。

各ブロック紹介では、これまで知らなかったことが多々紹介されました。

今回の座談会の内容を「だより」に掲載することで、地域・PTAの方々はもちろん青少年委員にも、青少年委員が「何をしているのか?」「地域とどう関わっているのか?」を改めて知っていただけたと思います。

次回は、ブロックだけではなく、各部会の活動が、地域・子どもに関わっていることを発信できればいいですね。

荒川・町屋ブロック

座談会に参加して皆さんの話を聞き、ブロックによって、ブロック行事や地区委員会との関係が違うことなどがわかりました。

新規事業の話がありましたが、実現するには、かなりパワーが必要かと思います。各ブロックの行事予定も見直す必要があるかもしれません。まずはブロック長が話し合って、ブロックに持ち帰り、話すことから始めたらどうかと思いました。

その他（座談会を見学したメンバーの感想）

- 今回初めて、各ブロック長がどのように考えてブロックを運営しているのかを知ることができ、非常に興味深かったです。
- 過去からのつながりや、その地域ならではの事情・状況に合わせた運営が工夫されていました。
- 何か新しいことを始めたいという意欲が皆にあることが分かり、ぜひ取り組みたいとも思いました。そのためには、今の行事を見直すなども必要ではないかと思いました。
- その他の部員を対象とした座談会を開き、皆の意見を聞いてみたいです。